

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

〈試料・情報の利用目的および利用方法〉

●研究の名称

経外耳道的内視鏡下耳科手術による外耳道後壁削除・乳突開放型鼓室形成術の有用性

●研究の対象

2019年3月1日から2024年2月29日に京都第二赤十字病院耳鼻咽喉科において、乳突蜂巣発育不良の中耳炎、真珠腫に対して、外耳道後壁削除・乳突開放型鼓室形成術（CWD）を行った患者さんを対象とします。

●研究の目的

中耳炎、真珠腫に対して行われるCWDという術式は、外耳道後壁を保存して行う術式に比べ、再発の可能性が低いという利点がある一方、術後の治癒の遅れ、乳突腔問題などが発生することがあり、CWDにおける課題となっています。そこで、当院では従来の顕微鏡によるCWDでの課題を改善するために、より側頭骨削開の範囲を少なくすることが可能な内視鏡によるCWDを考案しました。

本研究では、従来の顕微鏡によるCWDを行った症例と、新たに考案された内視鏡によるCWDを行った症例について、手術時および術後6か月の経過を比較し、その有用性を評価します。

●研究の期間

研究機関の長の実施許可日から2025年3月31日まで

●研究の方法

日常診療時に得られる下記の〈利用する試料・情報の項目〉について調査します。

〈利用する試料・情報の項目〉

●試料：なし

●情報：年齢、性別、診断名、乳突発育、手術時間、再建方法、上皮化期間、乳突腔問題の有無、など なお、利用する上記の試料・情報からはお名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報削除します。

〈利用を開始する予定日〉

研究機関の長の実施許可日

《利用する者の範囲》

●研究機関名および研究責任者名

京都第二赤十字病院 耳鼻咽喉科 内田 真哉

《試料・情報の管理について責任を有する機関の名称》

京都第二赤十字病院

《試料・情報の利用の停止（受付方法含む）》

患者さん又はその代理の方が、この研究への参加（試料・情報を利用すること）にご協力いただけない場合は、以下の《問い合わせ先》にご連絡ください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によっては、解析が完了している、結果が論文などで公表されているなどの理由であなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

《問い合わせ先》

研究機関：京都第二赤十字病院

担当者：耳鼻咽喉科 内田 真哉

住所：〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355 番地の 5

TEL：075-231-5171（代表）